

地域への取り組み

社会貢献・CSR(企業の社会的責任)活動

地域社会への貢献活動

当行では、役職員による募金と銀行からの寄付金で基金を造成する「りゅうぎんユイマール助成会」を通じて、地域の社会福祉活動や環境保全活動を支援しており、今年度は11団体に助成金を贈呈しました。また、社会福祉活動にかかわる法人および団体を助成する「源河朝明記念那覇市社会福祉基金」や「一般財団法人りゅうぎん国際化振興財団」の事務局としてその運営に携わっています。

このほか、なごアグリパークで開催された「第66回沖縄県植樹祭」に平成27年度新入行員60名と名護支店、大宮支店、今帰仁支店のメンバーが苗木の植え付け作業ボランティアとして参加するなど、地域の活動に積極的に参加しています。

人材育成への支援活動

毎年、夏休み期間中に小学生を対象とした「りゅうぎんキッズスクール」を開催し、地域の子どもたちに経済や科学に興味を持つきっかけを提供しています。13回目となる今年度は、ゲームを通じて経済の仕組みやお金の流れ等を楽しく学習する「経済教室」や、科学や環境への興味を引き出す「サイエンス教室」を開催しました。

また、当行では、琉球大学法科大学院の修生を嘱託職員として採用し、司法試験合格までの支援をするリーガル・サポート制度を設けています。平成27年9月の司法試験合格発表では、当行のリーガル・サポート制度利用者2名が合格いたしました。

芸術文化支援活動

沖縄県の伝統工芸の一つである紅型の振興と若手工芸家の育成、ならびに紅型デザインの新しい領域の追求を目的として、「りゅうぎん紅型デザインコンテスト」を毎年開催しています。第24回となる今回は、迎里勝さんの作品「間(ま)」が大賞を受賞しました。

入賞作品については、琉球銀行のカレンダーや通帳、広報物として広く活用されます。

バリアフリーへの取り組み

平成27年2月に新築移転した大謝名支店では、ご高齢の方や障がい者の方々がご利用しやすいよう出入口、ロビー、トイレをバリアフリーにしているほか、雨の日でも濡れずに移動できるよう屋根付の障がい者専用駐車場を設置しています。

また、当行ではお客さまに安心して銀行窓口をご利用いただけるよう、「サービス介助士」の資格取得を推進しており、平成27年9月末時点の当行職員の資格保有者は86名となっております。当行は、よりお客様の立場にたったサービスを提供することで「心のバリアフリー」にも積極的に取り組んでいます。

※りゅうぎんユイマール助成会

「りゅうぎんユイマール助成会」は、1993年(平成5年)6月に当行の創立45周年を記念して設立した基金です。毎年、役職員に寄付金を募り、さらに同額を銀行が寄付することで基金を造成します。例えば、役職員から250万円の募金が集まった場合、銀行も250万円を拠出し、合計500万円を助成会の活動原資とする仕組みです。りゅうぎんユイマール助成会では、地域の福祉活動や環境保全活動を継続的に支援しており、今年度の助成を含めた設立からの助成実績は410件、1億6,223万円となりました。(平成27年9月30日現在)



りゅうぎんユイマール助成会平成27年度上期贈呈式



りゅうぎんキッズスクールの様子(サイエンス教室)



りゅうぎん紅型デザインコンテスト表彰式